

# 都市計画論

選 択

開講年次：3 年次前期

科目区分：講 義

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：都市の概念や、都市及び都市計画の歴史、都市の機能と空間構造、土地利用計画プロセス、都市計画制度、市街地再開発事業、都市基盤整備等、都市空間の計画手法全般について体系的に学習する。さらに、国内外の先進的まちづくり事例の学習を通し、転換期にある現在の都市計画の動向とその背景について考察するとともに、新たな都市計画手法についても論及する。「まちづくりの事例解説」等では札幌市をはじめ、様々な都市や地域における課題および実践的取組事例について、ビジュアルな資料を基に理解を深める。(地域とのつながり あり) なお、本科目は建築士受験資格の取得に必要とされる指定科目 (その他) である。

■**到達目標**：①都市、都市計画・まちづくりに係る理念が理解できる  
②転換期にある都市計画の状況と、新たな都市計画手法について説明することができる  
③習得した知識や技法をまちづくりデザインに応用することができる

■**担当教員**：

中原 宏

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 オリエンテーション (授業内容と進め方 / 都市計画とまちづくり)
- 第 2 回 都市計画の体系 1 (都市の歴史と都市問題)
- 第 3 回 都市計画の体系 2 (都市計画の思想と方法)
- 第 4 回 まちづくりの事例解説 1 (西欧都市)
- 第 5 回 都市の土地利用計画 (都市の機能と構造)
- 第 6 回 都市の調査方法 (都市の資料と分析手法)
- 第 7 回 都市計画手法 (都市計画法と都市計画規制)
- 第 8 回 まちづくりの事例解説 2 (都市開発プロジェクトの動向 1)
- 第 9 回 まちづくりの事例解説 3 (都市開発プロジェクトの動向 2)
- 第 10 回 都市のインフラ計画 (インフラストラクチャ / 街路と歩行者空間)
- 第 11 回 まちづくりの事例解説 4 (新しいインフラ整備)
- 第 12 回 新たな都市計画の動向 1 (中心市街地の空洞化と活性化 / 都市景観)
- 第 13 回 新たな都市計画の動向 2 (コンパクトシティ / 郊外型住宅団地の再生)
- 第 14 回 新たな都市計画の動向 3 (路面電車とまちづくり)
- 第 15 回 まとめ (札幌のまちを創る)

■**教科書**：授業時にハンドアウトを配布します。

■**参考文献**：『まちづくりデザインのプロセス』 / 日本建築学会編 (丸善)、『現代都市計画事典』 / 山田学他 (彰国社)、『まちづくりキーワード事典』 / 三船康道 (学芸出版社)、『都市計画教科書』 / 都市計画教育研究会編 (彰国社)、『まちの見方・調べ方』 / 西村幸夫・野澤康編 (朝倉書店)

■**成績評価基準と方法**：3分の1を超えて欠席すると単位が出ません。評価は授業への参加状況 (受講態度を含めます) 20%、小テスト・授業内レポート40%、課題レポート40%により総合的に判断します。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート	◎	◎	○	授業内容に対する理解度	40
授業態度	◎	○	○	積極的な姿勢	20
発表					
課題・作品	○	◎	◎	課題提出物の充実度	40
出席				2/3以上の出席	欠格条件
その他					

■**関連科目**：

■**その他 (学生へのメッセージ・履修上の留意点)**：「人がまちを創り、まちが人を創り育てる」が信条です。人口減少時代に移行したわが国において、従来の「拡大・拡散型」から「凝縮・成熟型」へという、まちづくりの大きな方向転換が求められています。そのための新しい計画理念や手法について、学生のみなさんといっしょに考えてみたいと思います。